

2020/02/08 土曜日

羽田空港より7日深夜に出立。国際線ターミナルが意外と混んでいたのがっかりしました。むろん外国人利用者の数はまばらですが、日本は飛石連休の初日前。それなりに海外旅行の出発者はいたのです。しかし周囲からは「この旅行、帰ってきて職場にバレたらどうしよう」などという声が聞こえてきます。みんなそれなりにビビっています。

利用航空会社は香港エクスプレス。実はここ、1週間前に香港人感染者の搭乗が報道されていました。香港メディアで発表された詳細な日時・便名が、ツイートで回ってきていました。筆者はひそかに震えていました。また周囲に感染者が乗っていたらどうしよう？



事前のWEBチェックインで座席指定は済ませていましたが、もう一度チェックインカウンターに並び直し「予約席の同列・前後列に他の客は乗っていませんか？」と確認。「そんなの、これからチェックインしてくるお客様が座るかもしれないから保証はできませんよ？」とカウンターは渋い顔。迷惑な乗客ですみません(苦笑)

そんなこんなでボーディングゲート入りがギリギリになってしまいました。乗客はそれなりにいます。日本人:香港人は半々ぐらいでしょうか。(ふだんは香港人&大陸人で95%ほどを占め、ギチギチ満員。)自分のシートに着くやいなや、座席と手すりと収納テーブルと前席の物入れを、両隣3席分にわたりアルコール除菌ティッシュでフキフキ拭き拭き。搭乗中つけていたマスクは降機後ソク付け替えて捨て、石鹸で念入りに手洗いしました。

香港国際空港、午前4時のイミグレーション。もともと人の少ない時刻ですが、私たちの飛行機の乗客以外に人の姿は皆無。入国審査では「No China?」と聞かれました。この日の前日から香港、入境規制が始まっていたのです。大陸からの入境者は全員14日間の室内待機と検疫が義務づけられました。

しかし筆者は「No China! been only in Japan!」と元気におへんじするだけでスツと通過。なんの根拠も問われません。ゆるいです。日本からの出国時もそんなものでした。香港エクスプレスのカウンターで「湖北省の滞在歴がありますか？」とひとこと訊かれただけ。なんの根拠も問われませんでした。

託送荷物は乗客より先にターンテーブルに出てきていました。あまりにサクサク進んだので、朝の始発バスより前、深夜バスの運行時間に間に合っていました。

N11バスで金鐘パシフィックプレイスへ。そこからMTR港島線始発に乗り、ホテル最寄りの鰂魚涌(クォーリーベイ)駅に向かいます。N11も乗り込むやいなや、座席や手すりをフキフキ拭き拭き。外はまだ夜が明けず真っ暗です。

「ハーバープラザ・ノースポイント」は通常一泊18,000円程度。それなりのハイグレードホテルですが、今回は1/3の価格でとれました。早朝なのでチェックインはまだ。荷物だけ預かってもらいます。と、それだけなのにフロントでいきなりおデコにハンドガン突きつけられました。ピッ!スピード体温計でした。そしてアルコールジェルを差し出され、フロントマンの前で手にヌリヌリさせられました。

ともあれ、荷物を置いて街に出ます。

MTRで上環に出ました。とりあえず腹ごしらえが必要です。ガッチリ火の通ったものを、人の少ない路面店で食べるならイイかな…とお粥の店「生記」へ。今回は、小腹がすいても休憩がてら気軽にお店に入って香港グルメを堪能、というわけには行かず、できるだけ少ない食事機会でガッツリおなかに入れておかなければなりません。どんぶりたっぷりのお粥を平らげます。もちろん食事前にはテーブルと箸とチリレンゲと自分の手を殺菌ティッシュでフキフキ拭き拭き。

そして文武廟へ。書店と書物の神様・文昌帝君がいますので参拝を欠かしませんが、その日は旧正月から15日目の「元宵節」ということであって混んでいました。その行き帰り。急な石段があり、前回まで見かけなかった看板が出ています。「ハトのエサやり厳禁」。



現地ではコロナウイルスより前に鳥インフルエンザへの警戒が強まっており、野鳥を触ったりエサやりしたりを厳に戒める街頭広告を、その後も至るところで見かけました。その看板の周囲に、いつもどおり集まるハトの大群。意味ないですね。

石段と急坂を下り、中環の街に出ます。

と、出くわしたのは長い長い行列。その先にはドラッグストアチェーンの小さな店舗。これが噂の…マスクを求める行列か！



それにしても列、**長つが〜！！** ワンブロック先の、角を曲がったワンブロック先の、そのまたワンブロックまで続きます。店先には入荷の有無すら告知がなく、買えるかどうかわからないのに。この近隣はオフィス街で、住宅地と違いドラッグストアもごく小規模で点在するばかりです。それなのに至るところで長い行列ができています。

確かにこの香港、街を歩く人は全員マスク姿です。大げさでなくほぼ全員。外に出るのには必需品のようです。それなのに品不足では…この長い行列も納得せざるを得ません。さきほど上環の駅前でもらった無料新聞「頭條日報」を開けば、チャラそうな女性ブロッガー風のコラムに「いまやマスクはロレックスなみの価値がある」との記述が。なるほど…。のちにホテルの部屋に入ってから、持参のマスクを金庫にしまいました。